

引留クランプ 概略仕様書

1. 適用範囲

この規格は、主として高圧および低圧架空配電線路の電線引留に使用する引留クランプ（以下、「クランプ」という。）について適用する。

2. 種類

クランプの種類は、38、60および100の3種類とする。

3. 材料

クランプに用いる材用は、下表またはこれと同等以上のものを使用しなければならない。

部 品	材 料	メッキ方法	メッキ付着量
クランプの主体	JIS G 5702 (黒心可鍛鉄品2種)	溶融亜鉛 メッキ	50mg/cm ² 以上
コ ッ タ	JIS G 3101 (一般構造用圧鋼材SS400)	〃	50mg/cm ² 以上
ボルトおよび 座金	JIS G 3101 (〃)	〃	35mg/cm ² 以上
バ ネ 座 金	JIS G 3506 硬鋼線材 第4種または第5種	溶融亜鉛メッキまたは カドミニウムメッキ	—
割 ピ ン	JIS H 3522 (圧造用黄銅丸線)	—	—

4. 構造一般

クランプの構造は次の各号に適合しなければならない。

(1) 下表の電線の取付けおよび取外しが確実で、かつ容易であること。

種 類	標 準 電 線
38	5 mm, 22mm ² および38mm ²
60	60mm ²
100	100mm ²

(2) きず、さけめ、さびその他の欠点のないものであること。

(3) 全面一様に亜鉛メッキを施すか、またはこれと同等以上の効力のあるものとする。

5. 性 能

(1) 掌握力試験

クランプに下表に示す硬銅より線を使用状態に取付けし29 N・mの締付トルクで締付し下表の荷重の約75%まで任意の速度で増加させ以後1秒間に約1 kNの割合で増加し下表の荷重値に達した後、1分間にこれにたえ、かつ滑りがあってはならない。なお、荷重を取り去った時電線に有害なきずがあつてはならない。

種 類	使 用 状 態	荷 重 (kN)
38	5 mm, 22mm ² (7/2.0)	5.9
〃	38mm ² (7/2.6)	9.8
60	60mm ² (19/2.0)	14.7
100	100mm ² (19/2.0)	22.6

(2) 荷重試験

クランプを使用状態に取付けし、下表の荷重を加えたときクランプの各部に異常があつてはならない。ただし、試験の場合電線の代わりに荷重に耐える鋼撚線を使用することができる。

種 類	荷 重 (kN)
38	19.6
60	29.4
100	44.1

(3) 亜鉛メッキ試験

塩化アンチモン法による付着量試験において、3項の表の値以上であることまた、硫酸銅法による均一性試験では4回で終止点に達してはならない。

6. 荷 造

クランプは輸送中破損しないように適当に荷造りをしなければならない。

7. 表 示

クランプには、「種類」および「製造者名または略称」の表示を行わなければならない。

以上